

## 4. 地域の公共交通の現状

### 4.1 公共交通ネットワークの概況

当地域の公共交通ネットワークは、中核都市や地域中心都市と周辺市町村などを結ぶ広域交通は、鉄道、高速バス及び路線バスが担い、生活圏交通は、鉄道、高速バス及び路線バスのほか、市町村営の公共交通（コミュニティバス、デマンドタクシーなど）などが担っている。

鉄道は、JR 函館本線が長万部町から小樽市を運行している。

高速バスは、高速おたる号・高速よいち号・高速いわない号・高速しゃこたん・高速ニセコ号の5路線が運行しており、路線バスは、主に広域交通を担う路線は、積丹線・神恵内線・雷電線・島牧線・京極線・留寿都倶知安線などの17路線、小樽市内や倶知安町内の路線などの主に生活圏交通を担う路線は32路線が運行している。

また、市町村営の公共交通は、ニセコ町の「にこっとバス」や仁木町の「ニキバス」など、12市町村が運行している。

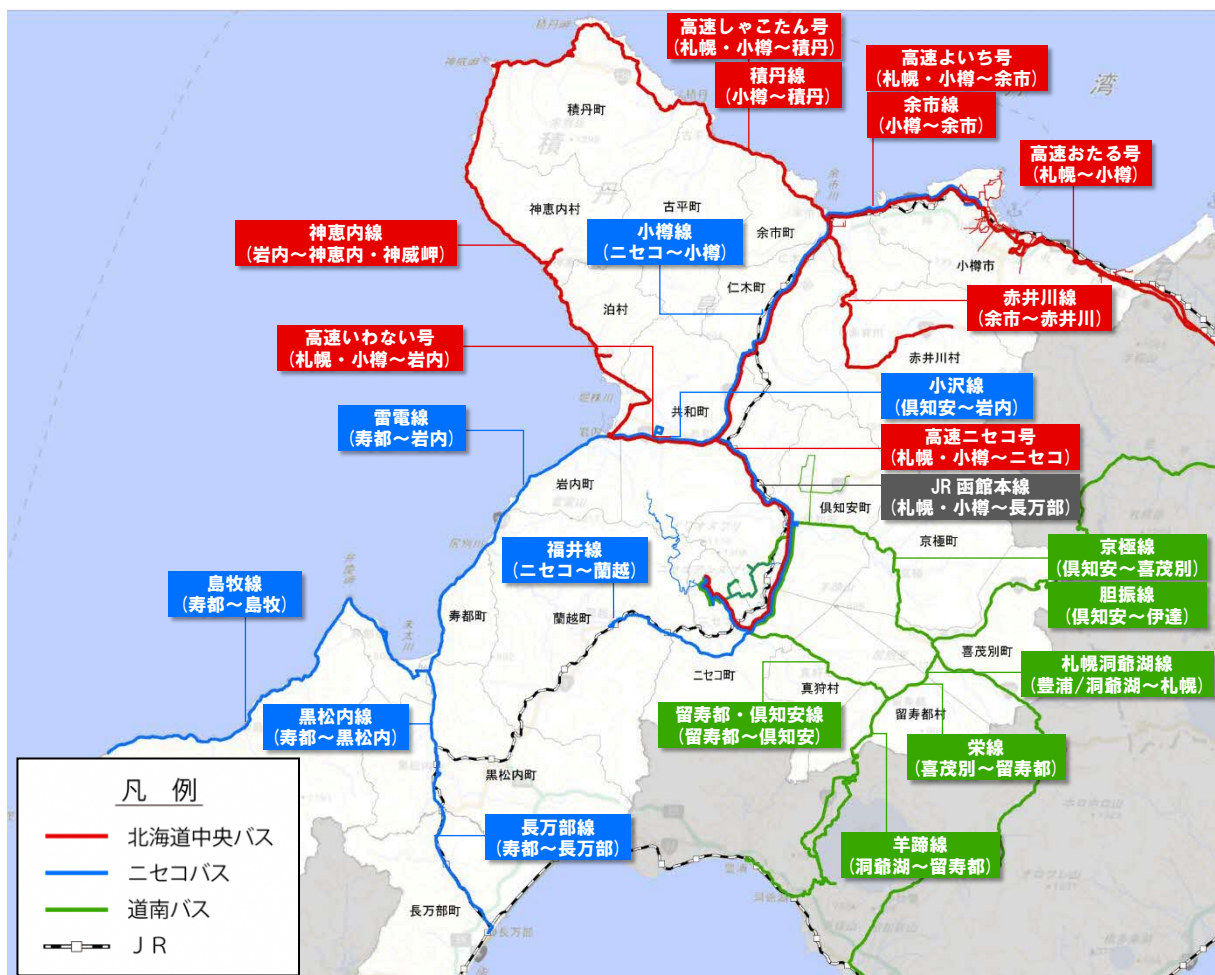
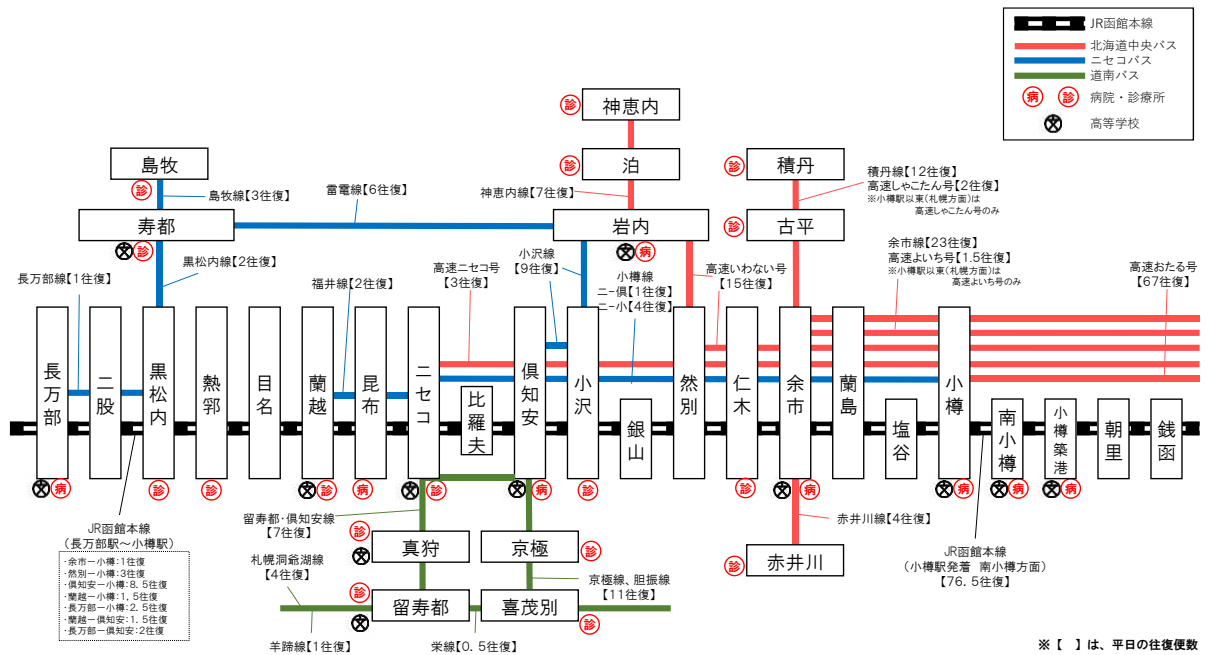


図 4-1 後志地域の広域交通を担う鉄道及び高速・路線バスネットワーク

広域交通を担う鉄道、高速バス及び路線バスに着目すると、JR 函館本線は、長万部町から小樽市まで、長万部駅や倶知安駅、余市駅、小樽駅、小樽築港駅、銭函駅等の計 22 駅を運行しており、路線バスや高速バスは、JR が運行していない岩内・神恵内方面や積丹方面、寿都方面、喜茂別・留寿都方面のほか、JR と並行する区間でも運行しているが、JR 蘭越駅～黒松内駅間は運行していない。



資料：JR 北海道、各バス会社 HP

図 4-2 後志地域の広域交通ネットワーク（概況）【2021（令和 3）年 10 月時点】

---

## 4.2 鉄道

### (1) 現況の運行・利用実態（長万部～小樽間）

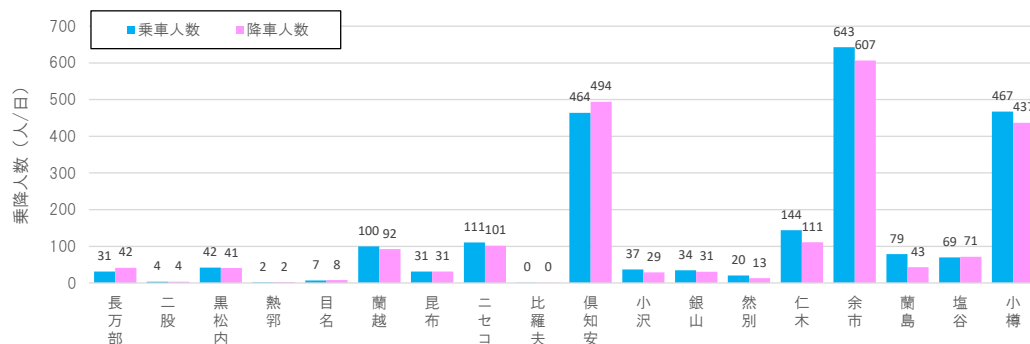
長万部駅や倶知安駅、余市駅、小樽駅、小樽築港駅、銭函駅等の計 22 駅を運行している JR 函館本線のうち、後志地域の中核都市群である小樽市の中心部（小樽駅）と当地域の各町村を結ぶ長万部～小樽間の運行・利用実態を以下に整理する。

長万部～小樽における運行本数は、駅間によって異なっており、平日の運行本数では、余市～小樽が最も多く（計 16.5 往復）、長万部～蘭越が最も少ない（4.5 往復）。

#### 【長万部～小樽の運行本数】

・余市～小樽	：1 往復	・然別～小樽	：3 往復
・倶知安～小樽	：8.5 往復	・蘭越～小樽	：1.5 往復
・長万部～小樽	：2.5 往復	・蘭越～倶知安	：1.5 往復
・長万部～倶知安	：2 往復		

長万部～小樽の各駅における1日の延べ乗降者数は、約2,900人であり、倶知安駅や余市駅、小樽駅における乗降が400人/日以上と多い。塩谷駅や蘭島駅、仁木駅、ニセコ駅、蘭越駅は、100人/日以上乗降があるが、その他の駅の乗降者数は100人/日未満である。



※長万部駅・小樽駅の乗降者数は、JR 函館本線の長万部～小樽間の利用者のみ（小樽駅に乘降する小樽～札幌方面の利用者や長万部駅で乗降する函館方面～長万部～室蘭方面の利用者は含まない）

資料：北海道新幹線並行在来線対策協議会における検討資料  
(2018 (平成 30) 年現況 OD 表) を基に集計

図 4-3 JR 函館本線の駅別乗降人数【全利用者】

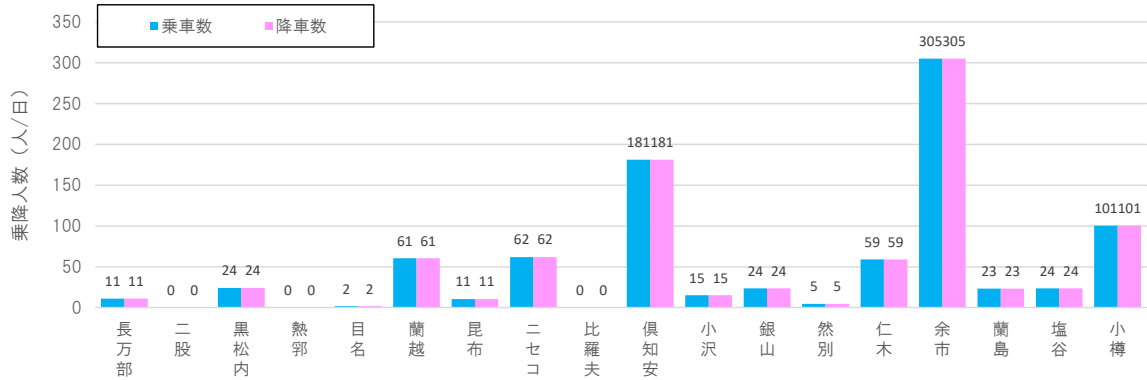
表 4-1 JR 函館本線の乗車・降車駅別利用者数 (駅間 OD 表)【全利用者】

(単位：人/日)

降車駅 \ 乗車駅	長万部	二股	黒松内	熱郭	目名	蘭越	昆布	ニセコ	比羅夫	倶知安	小沢	銀山	然別	仁木	余市	蘭島	塩谷	小樽	小樽以遠	合計
長万部		4	17			2		5		3										31
二股	4																			4
黒松内	15			2		8				8								5	5	42
熱郭			2																	2
目名						2				3									2	7
蘭越	1		7		1		3	6		72								8	2	100
昆布	1					3		3		20								2	3	31
ニセコ	5					2	2			76		0						4	22	111
比羅夫									0											0
倶知安	3		8		4	67	20	72			6	10	2	1	18		1	101	151	464
小沢	3									15								1	18	37
銀山								0		12				1	3		4	13	34	
然別										2				1	12			1	4	20
仁木										1	1	1	1		32		1	43	65	144
余市	6							1		9		6	8	26		0	1	199	387	643
蘭島															2	7		34	35	79
塩谷															1			34	34	69
小樽	4		5		1	5	3	4		140	1	4		29	208	19	44			467
小樽以遠			2		1	4	4	9		131	21	9	2	50	327	24	25			611
合計	42	4	41	2	8	92	31	101	0	494	29	31	13	111	607	43	71	437	739	2,895

資料：北海道新幹線並行在来線対策協議会における検討資料 (2018 (平成 30) 年現況 OD 表)

定期券の利用者は、1日の延べ乗降者数約2,900人のうち、約1,250人であり、余市駅・仁木駅～小樽駅・小樽以遠間、蘭越駅・ニセコ駅～倶知安駅間の利用が50人/日以上と多い。



※長万部駅・小樽駅の乗降者数は、JR 函館本線の長万部駅～小樽駅間の利用者のみ（小樽駅に乘降する小樽～札幌方面の利用者や長万部駅で乗降する函館方面～長万部～室蘭方面の利用者は含まない）

資料：北海道新幹線並行在来線対策協議会における検討資料  
(2018 (平成 30) 年現況 OD 表) を基に集計

図 4-4 JR 函館本線の駅別乗降人数【定期利用者】

表 4-2 JR 函館本線の乗車・降車駅別利用者数 (駅間 OD 表)【定期利用者】

(単位：人/日)

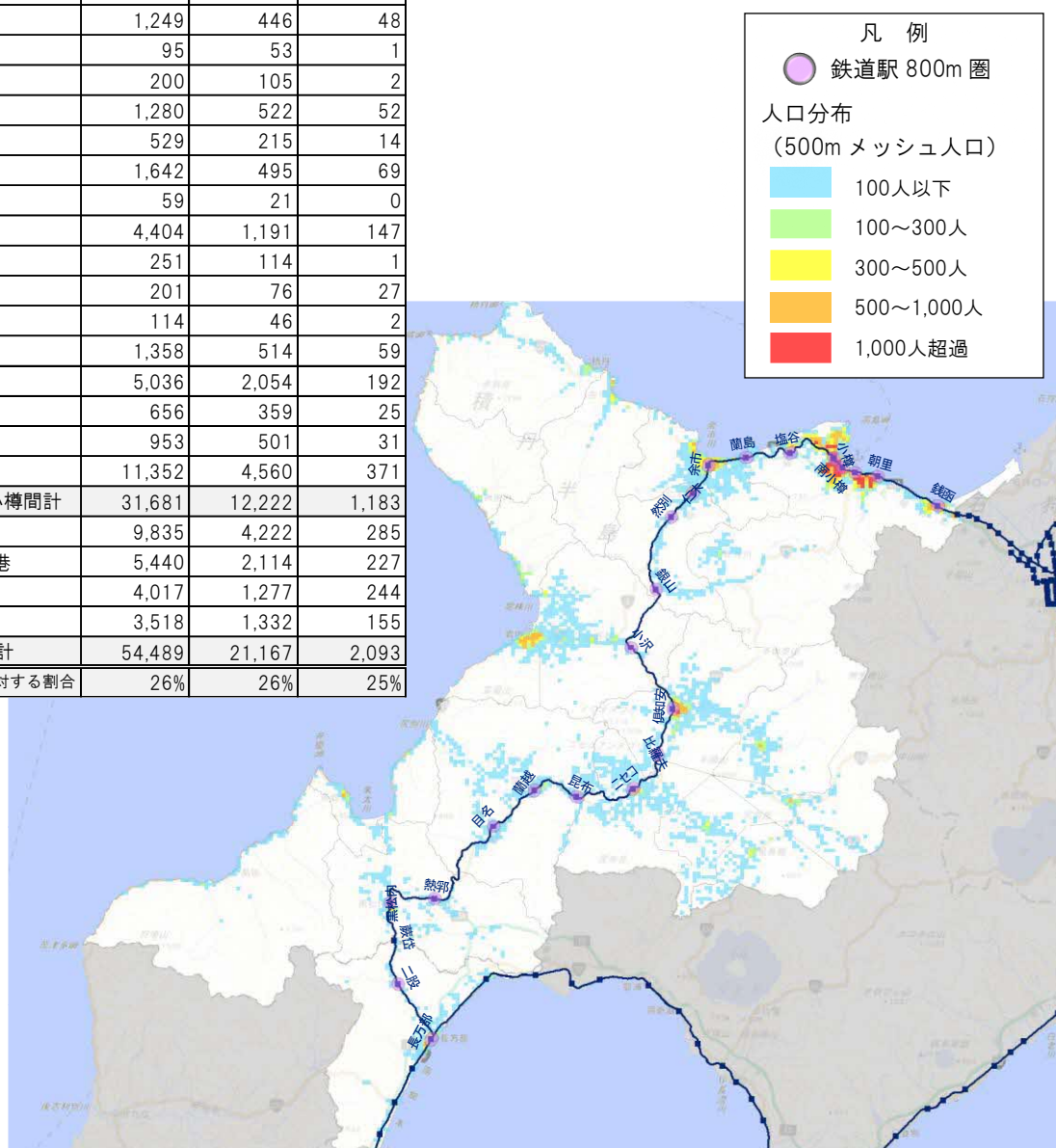
乗車駅 \ 降車駅	長万部	二股	黒松内	熱郭	目名	蘭越	昆布	ニセコ	比羅夫	倶知安	小沢	銀山	然別	仁木	余市	蘭島	塩谷	小樽	小樽以遠	合計	
長万部			11																	11	
二股																					
黒松内	11					7				7											24
熱郭																					
目名										2											2
蘭越			7				1	1		52									0	0	61
昆布						1		1		9											11
ニセコ						1	1			0	58		0						1	1	62
比羅夫									0												0
倶知安			7		2	52	9	58			2	9	1	1	6		1	13	22		181
小沢										2									1	12	15
銀山								0		9					3			4	7		24
然別										1				1	0						5
仁木										1			1		1			1	20	35	59
余市										6		3	0	1		0		55	240		305
蘭島															0			4	19		23
塩谷																		2	21		24
小樽						0		1		13	1	4		20	55	4	2				101
小樽以遠						0		1		22	12	7	2	35	240	19	21				359
合計	11		24		2	61	11	62	0	181	15	24	5	59	305	23	24	101	359		1,265

資料：北海道新幹線並行在来線対策協議会における検討資料 (2018 (平成 30) 年現況 OD 表)

## (2) 沿線人口

JR 函館本線の当地域内の駅（長万部～銭函間 22 駅）の 2020（令和 2）年時点の沿線人口（駅 800m 圏内人口）は、全駅合計で約 54,000 人（高齢者：約 21,000 人、高校生を含む 15～19 歳：約 2,100 人）であり、地域内総人口の約 25%を占めている。長万部～小樽間 18 駅に限定すると、沿線人口は約 32,000 人（高齢者：約 12,000 人、15～19 歳：約 1,200 人）である。

No	鉄道駅	沿線人口（2020年）		
		全人口	高齢者	15～19歳
1	長万部	2,269	925	140
2	二股	35	25	0
3	黒松内	1,249	446	48
4	熱郭	95	53	1
5	目名	200	105	2
6	蘭越	1,280	522	52
7	昆布	529	215	14
8	ニセコ	1,642	495	69
9	比羅夫	59	21	0
10	倶知安	4,404	1,191	147
11	小沢	251	114	1
12	銀山	201	76	27
13	然別	114	46	2
14	仁木	1,358	514	59
15	余市	5,036	2,054	192
16	蘭島	656	359	25
17	塩谷	953	501	31
18	小樽	11,352	4,560	371
長万部～小樽間計		31,681	12,222	1,183
19	南小樽	9,835	4,222	285
20	小樽築港	5,440	2,114	227
21	朝里	4,017	1,277	244
22	銭函	3,518	1,332	155
全駅計		54,489	21,167	2,093
地域内人口に対する割合		26%	26%	25%



資料：国土数値情報（鉄道データ及び 500m メッシュ別将来推計人口）に基づく集計

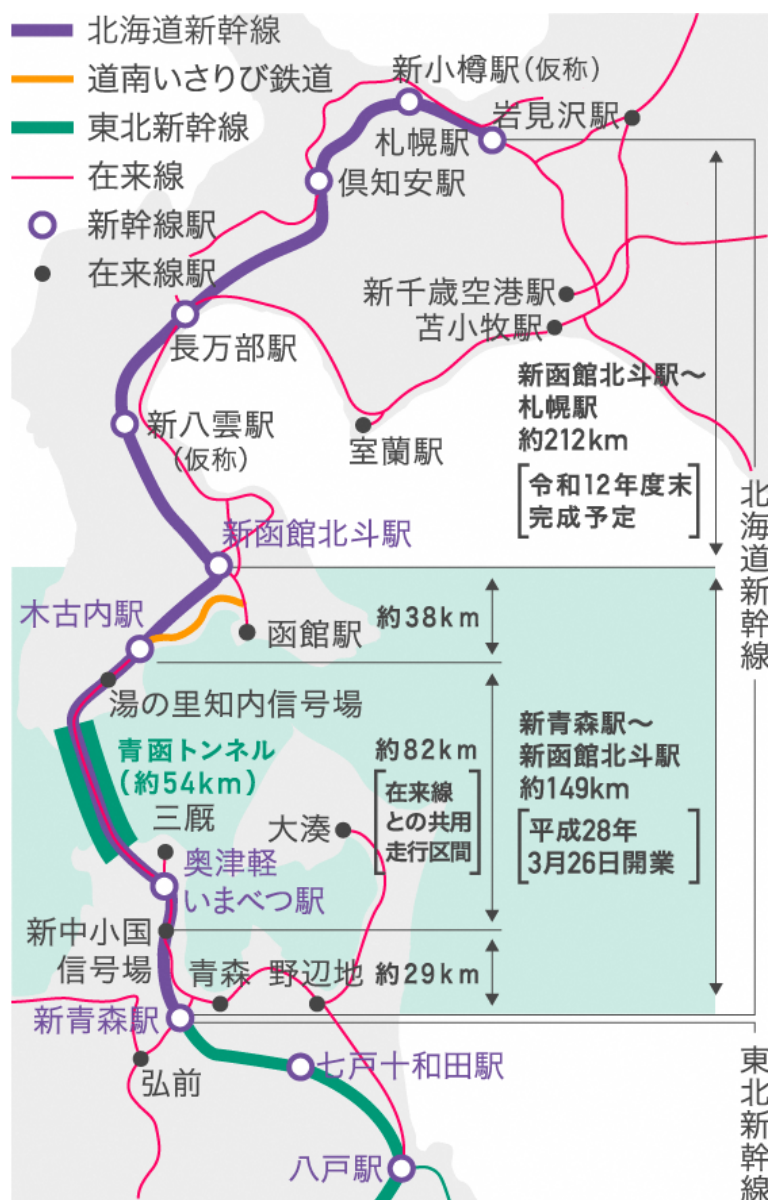
図 4-5 JR 函館本線各駅の沿線人口（駅 800m 圏内人口）



### (3) 将来の動向

2030（令和12）年度末の開業に向けて、北海道新幹線（新函館北斗～札幌間）の建設が進められており、新幹線駅は、長万部、倶知安及び小樽（新小樽駅（仮称））に整備されることから、当地域では、新幹線が将来の幹線交通を担い、新幹線駅が交通拠点となる。

一方、JR 函館本線の長万部～小樽間は、新幹線開業時に JR 北海道から経営分離されることから、北海道新幹線並行在来線対策協議会において、地域交通の確保方策の検討が進められており、長万部～余市間については、鉄道運行を行わず、「バス方式」とする方向性が確認されている（令和4年2月3日時点）。



資料：JR 北海道 HP

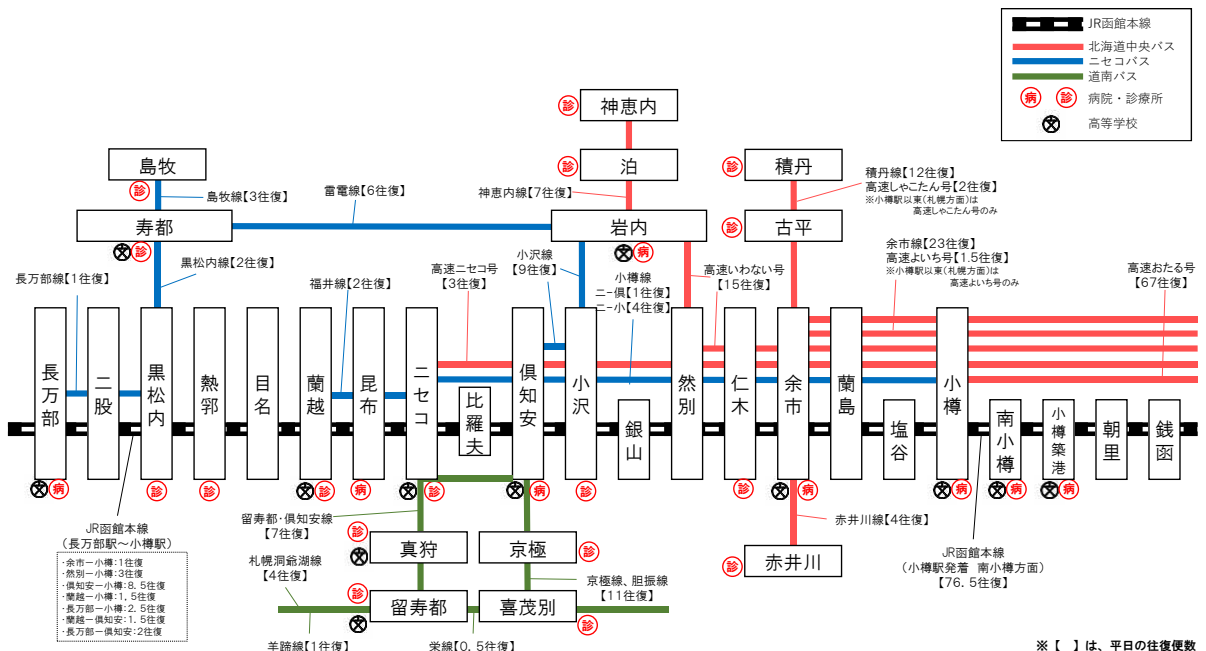
図 4-6 北海道新幹線の駅ルート

### 4.3 高速バス・路線バス

当地域の高速バスは、高速おたる号・高速よいち号・高速いわない号・高速しゃこたん・高速ニセコ号の5路線が運行されており、小樽駅～札幌駅を結ぶ高速おたる号は、北海道中央バスとJR北海道バスの共同運行であるが、それ以外の4路線は、北海道中央バスが運行している。

また、路線バスは、主に広域交通を担う路線は、積丹線・神恵内線・雷電線・島牧線・京極線・留寿都倶知安線などの17路線、小樽市内や倶知安町内の路線などの主に生活圏交通を担う路線は32路線が運行しており、北海道中央バスが北後志地区と岩宇地区の一部、ニセコバスが南後志地区と羊蹄山麓地区、岩宇地区の一部、道南バスが羊蹄山麓地区の一部において、路線バスを運行している。

後志地域の中核都市群である小樽市と地域中心都市（倶知安町・岩内町・余市町）、小樽市及び地域中心都市と当地域の各町村を結ぶ各路線（小樽市と札幌市を結ぶ高速おたる号以外の路線）について、運行・利用実態を以下に整理する。



資料：JR北海道、各バス会社 HP

図 4-7 後志地域の広域交通ネットワーク（概況）【2021（令和3）年10月時点】〈再掲〉



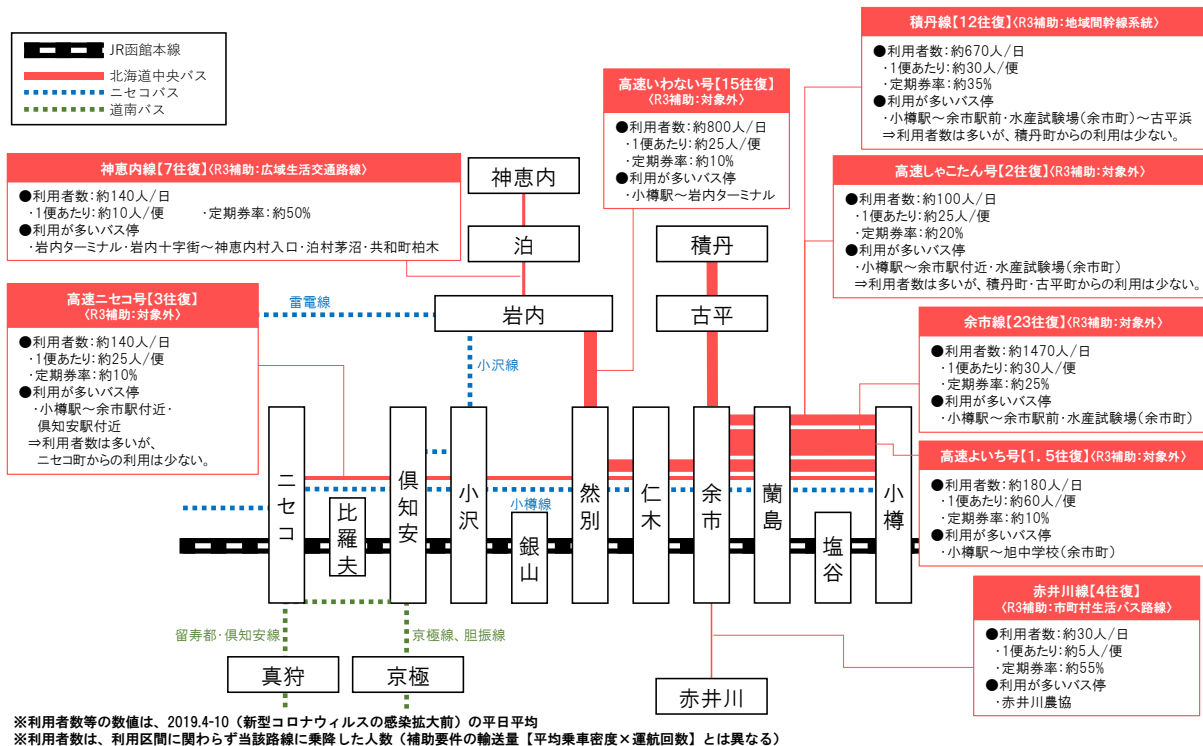
## (1) 北海道中央バスの運行路線

### 1) 現況の運行・利用実態

北海道中央バスは、中核都市群である小樽市と地域中心都市（倶知安町・岩内町・余市町）等を結ぶ高速バス（高速よいち号・高速しゃこたん号：余市・積丹、高速いわない号：余市・岩内、高速ニセコ号：余市・倶知安・ニセコ）を運行しているほか、北後志地区内の市町村間路線（余市線・積丹線：小樽～余市～積丹、赤井川線：余市～赤井川）、岩宇地区の市町村間路線（神恵内線：岩内～神恵内）及び小樽市内や余市町内の路線バスを運行している。

市町村間の路線の運行・利用実態については、余市～小樽間は、多くの路線が重複して運行されており、いずれの路線も利用者数が多いが、神恵内線や赤井川線、積丹線の余市～積丹間は利用者数が低迷しており、国庫補助等の活用により運行を維持している。

なお、赤井川線は、2019（令和元）年12月より日曜・祝祭日が運休し、その代替交通として、赤井川村役場が赤井川村公共交通バスを運行している。さらに、赤井川村地域公共交通活性化協議会により代替交通の導入が検討されており、2022（令和4）年4月より、赤井川線を廃止し、新たに村営バスが運行される。また、余市町内を運行している余市協会病院線は、余市町地域公共交通網形成計画（2020（令和2）年2月策定）に位置付けられた取組によって見直しが検討されており、2022（令和4）年4月に廃止され、新たに余市循環線が運行される。



資料：北海道中央バス提供資料を基に集計・整理

図 4-8 北海道中央バス運行路線

(高速バス・主に広域交通を担う路線バス)の運行・利用実態

## 2) 沿線人口

北海道中央バスの各運行路線（札幌方面のみに運行する高速おたる号を除く）の2020（令和2）年時点の沿線人口（バス停300m圏内人口）は、余市～赤井川間を運行する赤井川線が2,000人未満と最も少なくなっており、岩内～神恵内間を運行する神恵内線も約4,500人と主に広域交通を担うバス路線の中で2番目に少ない。

表 4-3 北海道中央バス運行路線の沿線人口

No	分類	路線名	運行区間(系統別)			沿線人口(2020年)		
			起点	主な経由地	終点	全人口	高齢者	15～19歳
1	高速バス	高速いわない号	札幌駅前ターミナル	小樽・余市・仁木・共和	岩内ターミナル	12,464	5,229	429
2		高速ニセコ号	札幌駅前ターミナル	小樽・余市・仁木・倶知安	いこいの湯宿いろは	10,057	3,887	355
3		高速しゃこたん号	札幌駅前ターミナル	小樽・余市	神威岬	10,209	4,473	361
4		高速よいち号	札幌駅前ターミナル	小樽	余市梅川車庫前			
5	主に 広域交通 を担う 路線バス	余市線	小樽駅前ターミナル	塩谷	余市梅川車庫前	15,063	6,411	603
6		積丹線	小樽駅前	余市駅前十字街	美国	9,246	3,957	348
			小樽駅前	余市駅前十字街	神威岬			
			小樽駅前	余市駅前十字街	積丹余別			
7		赤井川線	余市駅前	赤井川	道の駅あかいがわ	1,901	753	69
			余市駅前	赤井川	常盤			
8		神恵内線	岩内ターミナル	盃温泉	大森	4,491	1,687	134
			岩内ターミナル	盃温泉	川白			
			岩内ターミナル	盃温泉	神威岬(冬期:川白)			
9		1 ばるて築港線	小樽駅前ターミナル	済生会小樽病院	ばるて築港	11,198	4,789	358
	小樽駅前ターミナル		済生会小樽病院	新日本海フェリー				
	小樽駅前ターミナル		市立病院前	ばるて築港				
	小樽駅前ターミナル		市立病院前・ばるて築港	新日本海フェリー				
10	2 小樽市内本線	高島3丁目	小樽駅前・小樽築港	桜町	18,996	8,000	658	
		手宮ターミナル	小樽駅前	新光2丁目				
		手宮ターミナル	小樽駅前・ベイビュータウン	新光2丁目				
11	3 小樽市内本線	小樽自動車学校前	小樽経由	手宮	12,588	5,008	565	
		本局前	松ヶ枝町・南小樽駅前	本局前				
		南4 山手線	松ヶ枝町	南小樽駅前				
12	主に 生活圏交 通を担う 路線バス	6 望洋台線	小樽駅前	小樽築港	望洋台	17,945	7,089	716
13		7 最上線	小樽駅前	中央通・正法寺前	最上町	9,556	3,717	347
14		8 おたもい線	本局前	幸3丁目	おたもい入口	12,815	5,443	501
15		9 天狗山ロープウェイ線	小樽駅前	洗心橋	天狗山ロープウェイ行	8,419	3,284	286
16		10 おたる水族館線	本局前	小樽駅前	おたる水族館	7,157	3,103	230
17		11 祝津線	小樽駅前	赤岩	おたる水族館	10,911	4,699	401
18		12 赤岩線	本局前	小樽駅前・赤岩	かもめヶ丘団地	11,215	4,788	423
19		13 朝里川温泉線	小樽駅前	小樽築港駅	朝里川温泉	17,316	7,408	619
20		14 梅源線	本局前	清水町	手宮	13,309	5,823	459
21		16 奥沢線	小樽駅前	奥沢十字街	天神町	14,613	6,255	452
			小樽駅前	南小樽	天神町			
22		17 塩谷線	本局前	長橋中学校経	塩谷海岸	11,758	5,021	435
23		19 小樽商大線	小樽駅前	富岡1丁目	小樽商大前	4,037	1,480	131
24		24 山手中通線	小樽駅前	入船公園経	小樽駅前	13,275	5,295	482
25		30 ベイビュータウン線	小樽駅前	小樽築港駅	ベイビュータウン	16,109	6,480	633
26		33 新光・ばるて築港線	新南樽市場	ばるて築港 済生会小樽病院	新光2丁目	22,865	9,530	870
			小樽自動車学校前	ばるて築港	済生会小樽病院			
			小樽自動車学校前	ばるて築港	新南樽市場			
27		36 望洋台ばるて築港線	新南樽市場	ばるて築港	望洋台	17,801	7,010	713
			望洋台	ばるて築港	済生会小樽病院			
28		37 最上・ばるて築港線	最上町	済生会小樽病院・新南樽市場	ばるて築港	13,994	5,784	525
			最上町	新南樽市場	ばるて築港			
29		38 おたもい・ばるて築港線	ばるて築港	済生会小樽病院	おたもい入口	15,876	6,704	595
			ばるて築港	市立病院 幸3丁目	おたもい入口			
30		42 赤岩・ばるて築港線	ばるて築港	市立病院・小樽駅前	かもめヶ丘団地	15,689	6,641	564
31		46 奥沢・ばるて築港線	ばるて築港築港	済生会小樽病院・新南樽市場	天神町	8,999	3,990	302
	ばるて築港築港		奥沢十字街	天神町				
32	100 おたる散策バス	小樽駅前ターミナル	北一硝子	小樽駅前	3,300	1,330	87	
33	小樽・桂岡線	小樽駅前	朝里町	桂岡中央公園	11,209	4,731	395	
		桂岡会館下	朝里町	小樽駅前				
34	銭函・桂岡線	銭函浄水場	桂岡	銭函駅前	5,635	2,288	214	
		銭函浄水場	銭函駅前	銭函パークゴルフ場				
35	余市協会病院線	余市梅川車庫前	余市駅前	余市協会病院前	7,286	2,831	302	

資料：国土数値情報（バス停留所データ及び500mメッシュ別将来推計人口）に基づく集計

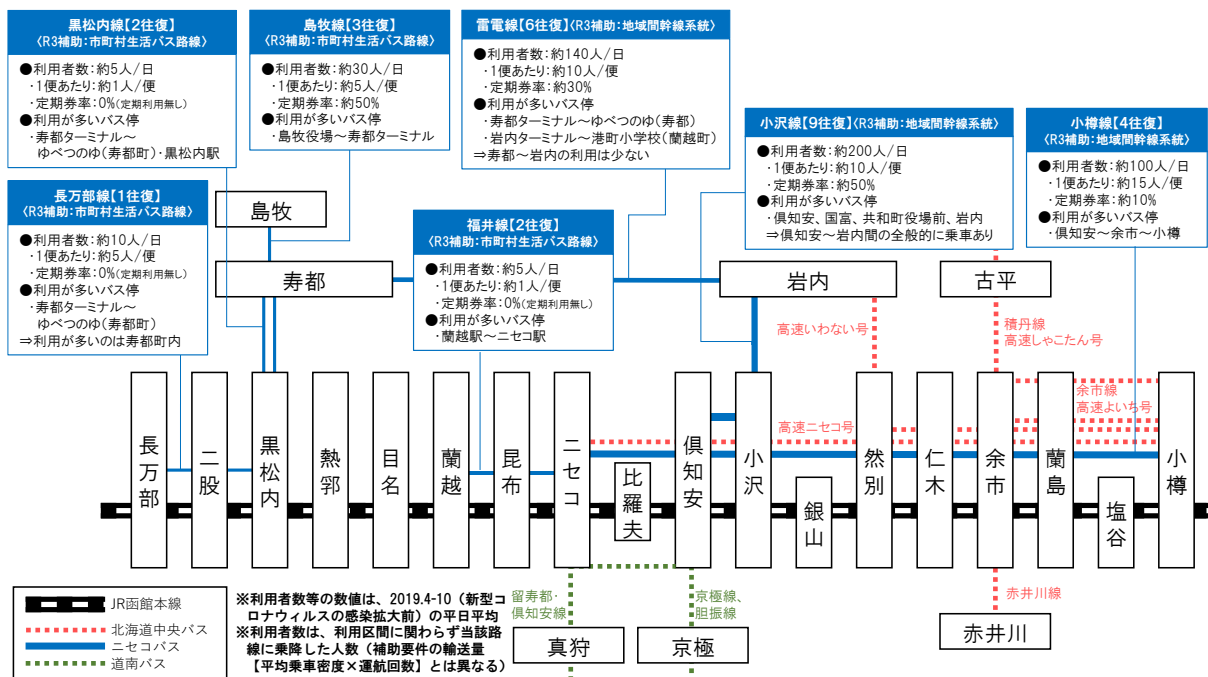
## (2) ニセコバスの運行路線

### 1) 現況の運行・利用実態

ニセコバスは、南後志地区の黒松内線（寿都～黒松内）・長万部線（寿都～長万部）・島牧線（寿都～島牧）や、南後志地区と岩宇地区を結ぶ雷電線（寿都～岩内）、羊蹄山麓地区と岩宇地区を結ぶ小沢線（倶知安～共和～岩内）、羊蹄山麓地区と北後志地区を結ぶ小樽線（ニセコ・倶知安～小樽）、羊蹄山麓地区内の福井線（ニセコ～蘭越）といった主に広域交通を担う路線バスを運行している。また、羊蹄山麓地区内では、倶知安駅前～ヒルトンニセコビレッジを運行する倶知安線やニセコ駅前～昆布温泉を運行するニセコ線など、主に生活圏交通を担う路線バスも運行している。

全般的に利用者数が低迷しており、国庫補助等の活用や市町村の支援により運行を維持している。

なお、島牧線、黒松内線及び長万部線は、利用者数の低迷やドライバー不足等により、日曜・祝祭日が運休になっており、島牧線の日曜・祝祭日の代替交通として、島牧村役場が寿都町・島牧村間送迎バスを運行している。



資料：ニセコバス提供資料を基に集計・整理

図 4-9 ニセコバス運行路線（主に広域交通を担う路線バス）の運行・利用実態

## 2) 沿線人口

ニセコバスの各運行路線の2020(令和2)年時点の沿線人口(バス停300m圏内人口)は、寿都～島牧間を運行する島牧線が約800人と最も少なくなっており、黒松内線や福井線、倶知安線も2,200～3,200人程度である。

表 4-4 ニセコバス運行路線の沿線人口

No	分類	路線名	運行区間(系統別)			沿線人口(2020年)			
			起点	主な経由地	終点	全人口	高齢者	15～19歳	
1	主に 広域交通 を担う 路線バス	小沢線	倶知安駅前	小沢	岩内ターミナル	7,318	2,382	215	
2		島牧線	寿都ターミナル	島牧役場	栄浜	823	357	19	
			寿都ターミナル	島牧役場	原歌				
3			小樽線	ニセコ駅前	倶知安駅前	小樽駅前	11,906	4,108	402
4			雷電線	寿都ターミナル	港町	岩内ターミナル	4,501	1,850	109
5			黒松内線	寿都ターミナル	追分	黒松内温泉	2,383	920	92
6			長万部線	寿都ターミナル	黒松内	長万部駅前	3,230	1,288	140
7		福井線	ニセコ駅前	昆布駅前	蘭越出張所	3,245	1,065	136	
8	主に 生活圏交 通を担う 路線バス	倶知安線	倶知安駅前	ひらふ	ヒルトンニセコビレッジ	2,281	520	68	
9		ニセコ線	ニセコ駅前	いこいの宿いろは	昆布温泉	6,425	1,723	196	
10		倶知安・ニセコ線	ニセコ駅前	倶知安駅前	厚生病院前	6,126	1,650	193	

資料：国土数値情報（バス停留所データ及び500mメッシュ別将来推計人口）に基づく集計